
リチャード・シュスターマン教授講演会

『プラグマティズムと哲学の実践』 翻訳刊行記念

筋肉記憶と日常生活の身体美学的病理

*Muscle Memory and the Somaesthetic Pathologies
of Everyday Life*

日時：2012年6月19日 火曜日 18:00～19:30

場所：東京大学教育学部棟 1階 第一会議室



Richard Shusterman氏は、フロリダ・アトランティック大学教授。哲学を単なる一研究領域としてではなく、生きる技芸として捉え直し、「哲学的に生きること」の実践を提唱している。また、そうした哲学的実践の可能性を、一方でデューイ、ワイトゲンシュタイン、フーコーといった現代の哲学者やラップのようなポピュラー芸術のなかに探るとともに、他方では身体技法を含む「身体美学」として具体化しようと試みている。彼の美学・哲学に関して、アメリカで今年論集が刊行され(*Shusterman's Pragmatism. Between Literature and Somaesthetics*)、パリでは5月に会議と美術展が開かれるなど("L'art à l'état vif: 20 ans après.")、そのラディカルな試みは大きな注目を集めている。邦訳著作として『ポピュラー芸術の美学』(勁草書房)、『プラグマティズムと哲学の実践』(世織書房)がある。

(講演は英語で行いますが通訳がつきます。)

【連絡先】 東京大学大学院教育学研究科 今井康雄 03-5841-3935 / imaiyapa@gmail.com



(第一会議室は教育学部棟の玄関に入って右手です。)